

令和5年度学校評価 (3学期・評価)

鹿児島市立花尾小学校

- 1 学校の教育課題 ○確かな学力の向上 ○豊かな心の育成 ○体力向上と保健・安全意識の向上
 ○特色ある開かれた学校づくりの推進 ○教職員の資質向上

4：よく実践され効果も出ている 3：実践されている 2：実践されているが効果が出ていない 1：実践が十分でない

重点目標	評価項目	評価			成果や課題
		3学期	2学期	差	
確かな学力の向上	1 児童に、各学年の発達段階に応じたガイド学習の進め方が定着している。	3.25	3.00	0.3	1-○国語でも学習計画をもとに、自分たちでめあてを確認して、内容を把握するなど、ある程度見通しをもつことができるようになった。 7-○宿題忘れもほほなく、家庭もしくは児童クラブで学習する習慣が身につけている。 8-○3学期後半時に6年生が5年生へ引き継ぐことが習慣となっていてよいことだと思う。 8-●引き継いだ6年生が清掃等の活動をなまけてしまうことがあった(昨年度も)。繰り返し声かけしていきたい。 9-○登校渋り等に対して、管理職の先生方や養護教諭に協力してもらい、柔軟に対応することができた。 9-○職員連携が取れ、情報を共通理解した上で、指導することができた。個別の対応に重点を置くことが多く、全体として指導が不十分なところもあった。 11-○ありがとうカードで、これまでのことを振り返り、友だちや先輩にありがとうを伝える機会が出来た。 18・19-○保健室が色々な取組みをしてくださり、保健・給食面で子供たちの意識が高まったように思う。 20-○きちんと月初めに行くことができた。 25-●ひとり一役で取り組ませているが、十分ではなかった。 27-○計画的に仕事を進めて、退庁時刻が18時半をこえることは、ほとんどなかった。 27-●休憩時間の確保をお願いしたい。 27-●3月の校外行事はできるだけ少なくする。 ●学校として、重点課題を決め、取り組めるとよい。(学習定着、あいさつ、言葉遣い、廊下歩行、学校好きなど)
	2 児童は、問題に気付き、見通しをもって課題に取り組んでいる。	3.25	3.00	0.3	
	3 児童は、自ら学びを調整しながら、粘り強く問題解決に取り組んでいる。	2.75	3.00	-0.3	
	4 児童は、学びを振り返り、次の課題に生かそうとしている。	3.00	3.00	0.0	
	5 児童は、学習チャレンジタイム等によって、基礎的・基本的の内容が身に付いている。(鹿児島チャレンジ、アシストシート等)	3.00	3.00	0.0	
	6 児童は、ICTを探究や課題解決に活用している。	3.75	3.33	0.4	
	7 児童は、家庭学習の習慣が身に付いている。	3.25	3.00	0.3	
豊かな心の育成	8 生活指導における共通理解事項と花尾のよい子を、児童にきちんと指導し共通実践する。	3.20	3.00	0.20	
	9 児童の言動に気を配り、いじめ等の諸問題を、全職員で共通理解する。	3.33	3.20	0.1	
	10 道徳の授業を充実させ、豊かな心の育成に努める。	3.00	3.00	0.0	
	11 人権同和教育の視点に立った授業・学級経営を推進する。(児童全員のよさを見つけ、職員室や朝・帰りの会等で共有する。(うれしいポスト活用))	3.20	2.67	0.5	
	12 環境ISO活動やボランティア活動、青少年赤十字活動を積極的に推進する。	3.00	3.00	0.0	
	13 毎月23日のうちどく(花尾読書の日)に取り組む。	3.40	3.50	-0.1	
保健安全意識の向上	14 一学校一運動「一輪車名人になろう」に取り組む。(チャレンジかごしま活用)	3.40	3.60	-0.2	
	15 仲よし体育や授業で持久力や敏捷性の向上に取り組む。	3.00	3.00	0.0	
	16 健康タイムや健康教室を工夫し、疾病予防や早期治療に取り組む。	3.20	3.40	-0.2	
	17 早寝・早起き・朝ご飯習慣化に取り組む。	3.20	3.00	0.2	
	18 給食指導の充実を努める(食物アレルギー・偏食・マナー等)	3.25	3.40	-0.2	
	19 給食後の歯みがき指導に取り組む。	3.20	3.40	-0.2	
	20 月1回の安全点検と連動した補修状況を共有し安全指導を徹底する。	3.50	3.17	0.3	
特色ある学校開かれた	21 地域合同行事や文化財少年団、あいご会活動を通して保護者や地域住民と絆を強める。	3.50	3.17	0.3	
	22 地域人材を活用して郷土を学ぶ探究学習(総合的な学習の時間・創意の時間)に取り組む。	3.40	3.25	0.2	
	23 教員同行で清掃活動や花作りを行い美しい学校づくりを行う。	3.29	2.50	0.8	
	24 教職員の資質及び指導力向上を目指した職員研修に取り組む。	3.17	3.25	-0.1	
	25 黙々作業100%をめざす。(「一学校一改革」)	2.83	2.33	0.5	
	26 服従規律の厳正確保業務改善に取り組む。	3.43	3.50	-0.1	
	27 業務改善に取り組む、良い事例を共有する。	3.33	3.00	0.3	

考察及び改善方策

(1) 支援が必要な児童に対して、全職員で対応することができた。来年度はSSTの実践を行う。
(2) 黙々作業や言葉遣い、廊下歩行など様々な課題がある。一つ一つ解決できるように指導していく。
(3) 学習内容の確実な定着のため、授業改善が不可欠である。実践事例を参考にするなど研修を深める。